

あいちの印刷

8

2013.8
No.501



初夏の尾瀬沼

第4回ポスターグランプリコンペティション

応募期間は8月20日(火)～9月7日(土)です。
一般の方、学生・生徒を対象に広く応募者を募集しています。多くの方のご応募をお待ちしております。(詳細は11ページ参照)

もくじ

巻頭言「～社員のやる気 やりがいにも繋がるCSR～」 ／経営革新委員長 木村 吉伸……………	3
愛印工「経営セミナー」 「戦略的CSR」への取り組みについての提案 ……	4
全印工連CSR認定 第一期40社を認定 ……	9
全印工連／中部地区印刷協議会 平成25年度上期会議(富山県会議)分科会報告 ……	10
第4回ポスターグランプリコンペティション ……	11
身近な催し物のお知らせ ……	11
愛知労働局より 「第12次労働災害防止推進計画」 ……	12
愛印工「MUDセミナー」……………	13
従業員・家族合同レクリエーション大会案内 ……	14
新刊書紹介／事務局だより ……	14

巻頭言

「～社員のやる気 やりがいにも繋がるCSR～」

経営革新委員長 木村 吉伸

7月21日参院選では、65議席と自民圧勝で終わり、ねじれが解消されましたが、改憲勢力は3分の2（162議席）には届きませんでした。アベノミクスに対しての賛否が問われた選挙となりましたが、今後の経済対策に期待したいところです。

また、今回の参院選から初めてインターネットを利用しての選挙運動が始まり、“ネット選挙”と言われましたが、投票率改善には至らなかったようです。みなさんは、ネットでご覧になりましたでしょうか？

このように紙媒体が多かった選挙も今後は、紙とネット両方を利用し、それぞれの利点を活かして各政党も活動していくと推測されます。

今年度の経営革新委員会は、第1回事業として6月に“戦略的CSR”についてのセミナーを開催させていただきました。ネット選挙が始まった事でもわかるように、アナログとデジタル双方の利点を活かした情報提供が益々進む環境において、より一層、“CSR（企業の社会的責任）”の重要性が高まっていくと思います。

“CSR”とは、あらためて辞書を引くと、
「企業が事業活動において利益を優先するだけでなく、顧客、株主、従業員、取引先、地

域社会などの様々なステークホルダーとの関係を重視しながら果たす社会的責任。具体的には、安全で高品質な製品・サービスの提供、環境への配慮、社会的公正・倫理にかなった活動などを行っているかなどが挙げられる。」

とあります。一般的には、大企業が行っている慈善事業のことだけのように誤解される事が多いですが、中小企業にとってもこのように社会的責任を果たすことにより、業務プロセス改善によるコスト低減、技術・サービス革新、企業イメージの向上など様々なメリットがあるといわれ、CSRに積極的に取り組む動きが広がっています。また、従来の「環境報告書」を「CSR報告書」へ改題したり、新たに作成したりして社会的責任としての活動を広く捉え、アピールする企業が増えつつあります。

今年度から始まりました全印工連の“CSR認定制度”におきましても、第一回では、愛知県で3社認定されました。慈善事業だけではなく、自社のコスト削減、品質向上にもつながるCSR。社会により認められるという点では社員さん達のやる気やりがいにもつながるCSR。自社の今後の指標としてお気軽に、ご利用いただければと思います。

KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

大評判

白紙正

デジタル印刷

環境対応フラット
ケミカルレスCTPシステム

Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

FolioAid AQUA

bizhub PRESS C7000

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 PPG営業社 今年度実績

F460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上生命ビル5F TEL. 052-229-4624(代)

持続可能な経営を目指すために！

「戦略的CSR」への取り組みについての提案

講師：江森克治

全日本印刷工業組合連合会CSR推進専門委員会委員
株協進印刷代表取締役社長

愛印工・経営革新委員会では、全日本印刷工業組合連合会が進めているCSR（企業の社会的責任）の啓蒙と推進を図るべく、6月21日午後6時30分よりメディアージュ愛知において、平成25年度第1回経営セミナー「戦略的CSRへの取り組みについての提案 ～持続可能な経営を目指すために～」を開催した。講師には、江森克治全印工連CSR推進専門委員会を招聘し行われた。（本稿はその折の講演内容を要約したものである）。



「戦略的CSR」講演会の模様

【CSRは時代の潮流】

長年にわたり印刷会社は地域密着型で商売を営んできました。しかし、それは実際に本当なのでしょうか？ 実は自己本位ではないのか、さらには、顧客しか見ていないのではないのか、との疑問がわいてきます。本来、顧客だけではなく、社員や外注先、地域社会、地球全体に至るまで、多くのステークホルダー（利害関係者）があるにも係わらず、あまり意識してこなかったのが実態であると思われます。しかし、企業も社会の中で生かされている存在である以上、直接・間接を問わず企業を取り巻く関係者との対話や配慮が重視されなければなりません。自社とクライアント、その他のステークホルダーとの関係性を見直す、それがCSR（企業の社会的責任）であり、その重要性が叫ばれ始めています。

企業の中にはNPOと積極的に連携しながら、地域に対して支援を行なうことで潜在的なニーズに気づき、それを上手にビジネスに繋げている中小企業も多く存在しています。これはソーシャルマーケティングという手法で注目され始めています。こういった手法はむしろ中小企業に有利です。CSRは、経営に対話や配慮という手間隙をかけることで、持続可能な経営を行なっていくことです。つまり、効率的な利益を最優先させる経営ではなく、信頼をベースに持続可能な経営を目指すことにあります。

【コンプライアンス違反が生じた事例】

コンプライアンス違反が生じた事例を紹介してみます。

雪印食品の牛肉偽装事件がありました。日本産牛肉（Jビーフ）からBSE（狂牛病）が発生。雪印は、農水産の国産牛肉に対する補助金を不正に受給するため、在庫の牛肉の産地を偽装。2001年10月に起き、2002年から2004年に発覚し大きな社会問題になりました。1925年（大正14年）創業の名門企業の不祥事です。前年に起こったずさんな食品管理による集団食中毒事件による逆風もあり、補助金不正受給の直後から経営は極度に悪化。わずか数ヶ月で経営が困難になり。発覚から2ヶ月で従業員は全員解雇。2002年4月30日77年続いた会社は解散した。

雪印と同じことをした会社があります。東京都の印刷業者3社が雇用調整助成金、中小企業緊急雇用安定助成金を不正に受給し、景気や雇用情勢の悪化に伴う国や自治体による支援策を悪用した事例です。どの事業者も苦勞して経営を続けている中、違法行為で税金を不正に奪ったと批判され、当然のことながら信用が失墜しています。しかしながらこの行為は、不正受給した3社のみならず、印刷業全体に疑いの目が向けられてしまったことです。

また、記憶に新しい事例として、2012年3月に大阪の校正印刷会社で起きた胆管がん問題があります。7月8日付の朝日新聞では、「排気装置設置せず？

刺激臭充満、胆管がん問題の印刷会社」と報じています。「大阪の印刷会社で、度重なる胆管がんが発生。職場には法律で定められた排気装置がなく、有害物質を含んだ空気が循環し、換気が不十分だった恐れもある。窓もない作業場の劣悪な環境が長年続き、従業員の健康を蝕んだとみられる」と報道しています。結果、12人が胆管がんを発症し、うち7人が亡くなっています。

以上申し上げた以外にも、多くの違反が発生し、そのつど大きな社会問題になっています。コンプライアンス違反、法令違反や粉飾決算、談合、偽装などにより倒産した企業は、2010年には95件でしたが、11年になると153件、1.6倍に急増しています。倒産形態では破産が56件を占めています。いずれにしても、信用を失墜した企業の事業再建は非常に難しいものがあります。

このように、企業不祥事が相次いでいることから「コンプライアンス（法令遵守）」が重要視されています。直接の法的な違反でなくても、「倫理や社会貢献などに配慮した行動」に反した行為は糾弾されます。さらに、不祥事の発覚から対外信用をなくし大きく失墜すると、消費者、取引先からの糾弾も起き、事業継続が不可能となり破綻するケースもあります。経済のグローバル化が進むとともに、コンプライアンスに違反した企業への罰則は有形無形に強まってきます。

【CSRの重要性】

どれほど素晴らしい経営理念を持っていても、どれほど素晴らしい製品やサービスを提供していても、長期間にわたって高い収益を上げることができなければ、いずれその企業は消えてしまいます。では、長期間にわたって高い収益を上げるためには何をすべきでしょう。収益確保を実現するためには、クラ



CSRとは？

イアントや社会の課題、ビジネスの課題を解決するソリューション型の事業展開を図っていくことです。また、一方では、社員の誇りを高め、技術やノウハウの蓄積、生産性の向上を通じて企業の価値を向上させていくことが重要です。

こうした企業戦略とCSRとは一見別物に見えるかもしれませんが。日本では昔からCSRを意識した商いの考えがありました。近江商人の「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という「三方よし」の考え方です。これは今の経営にも非常に重要なポイントで、これらを企業戦略の中にきちんと位置付け、最低限のレベルで甘んじることなく、常に高度化を目指していく必要があります。

社会は常に変化しています。その際たるものが、少子化であり、高齢化、市場縮小です。会社のことだけではなく社会全体の取り組みが必要です。社会からの要請と従来からの事業活動を両立しつつ、チャレンジしながら企業価値の創造、新たな市場の創造、新たな顧客の創造など、推し進めていかなければなりません。

今の時代、CSRは企業にとって無視できない重要なテーマとなりました。CSRに取り組むことで、社会の様々なニーズに気づき、多様性を学び、社内の

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、心豊かな社会の実現に貢献します。

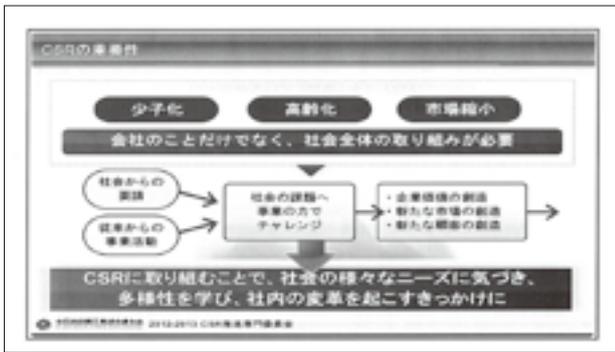
次の世代に豊かな地球を残し、皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・省材・LEDの
株式会社 Axuas

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
 販売営業本部 TEL:052(220)5511 F:052(220)5511 FAX:052(220)5522
 Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp





CSRの重要性

変革を起こすきっかけとなり得るのです。

【CSRを徹底するために】

CSRが経営とは全く遊離している状態では、永続的な企業づくりはできません。では、どこを突破口とすべきか。社内の働く環境とコンプライアンスに目を向けてみます。労働法は中小企業には非常に厳しい法律ですが、労使の信頼関係があれば、労働法以前に労働環境は良好に保たれます。働く環境や地球環境を一步ずつ改善していくことが立派なCSRとなります。

労使の信頼関係と共通の目的意識のもと、情報を集め→社員を巻き込み→仕組みを作り→やってみて改善を施す。たとえ小さなことでもいいですから、過去取り組んでみたこと、現在取り組んでいることなどをベースにしてさらに深掘りして見ることです。

法規制を守るという行為は、事業活動のどのような場面においても必要です。ただ、中小企業の中には、まだその認識があまい企業もあります。それは事業上、「当然発生するリスク」と考えなくてはなりません。つまり、これを前提として、継続的にリスクを排除していく努力が必要です。

【CSRは企業戦略の一つ】

CSRには2つの側面とそれを支えるガバナンス（組織統治）があります。一つは、「基本的CSR」[守りのCSR]といわれるもので、自らの社会的責任を果たす企業としての必須責任です。社会から安心できる企業という信頼を獲得するためのものです。例えば初歩的なことですが、ゴミをきちんと分別して定められた日にゴミ集積所に持っていく、或いは、クライアントから再生紙指定で受注したものは指定通りの用紙を使うなど、法律や契約での約束ごとなど、ごく当たり前のことをきちんとできる、といったことが該当します。もう一つは、「戦略的CSR」や「責めのCSR」と呼ばれている領域です。これは、CSRを通じてその企業にさらなる魅力や強みを付加します。事業戦略として、環境・社会課題にチャレ



CSRは企業戦略のひとつ

ンジしていくことで企業価値の創造に繋げる、ビジネスのヒントを掴む、商品やサービスを開発し新たな顧客の創造に繋げていくといった非常にアクティブな取り組みです。

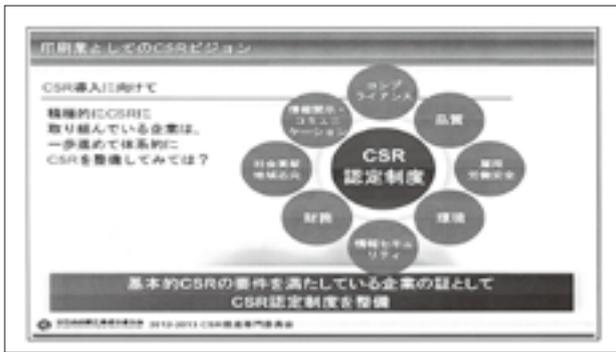
さらに、CSRに取り組むためには、ガバナンスが重要です。ガバナンスは、CSR活動の土台にあたるもので、CSR活動を支える体制や仕組みです。つまり、組織や社会に関与するメンバーが主体的に意思決定、合意形成を行なうシステムのことです。CSR推進のために、多様な意見を吸い上げる機能やチェックシステムを持ち、企業が適切かつ健全に運営されていくための仕組みの構築が必要になります。

【印刷業としてのCSRビジョン】

印刷業ならではの7つの中核主題を背景に、その課題を抽出したCSRビジョン8項目を策定しています。ここに掲げるビジョンは、我々中小企業が持続可能な経営を実現するためにどのような活動が必要なのかを踏まえて策定したもので、CSR経営の指針でもあり、また、戦略ともいえるものです。

ー印刷業CSRビジョンー

- ①コンプライアンス＝関係法令を遵守し、不合理な商習慣には従わず誠実で公正な取引を行ないます。
- ②品質＝安全で信頼のおける製品及びサービスを提供し、社会に有用なよりよい品質を追い求めます。
- ③雇用・労働安全＝従業員の人格・個性・成長を尊重し、安全かつ働く喜びを感じられる環境を確保します。
- ④環境事業活動に係わる環境影響を掌握し、環境負荷の低減が企業の社会的存続に不可欠であることを認識して自主的かつ積極的に行動します。
- ⑤情報セキュリティ＝社内外から得た個人情報をはじめとする全ての情報や、第三者の知的財産権などについて適切に取り扱います。
- ⑥財務＝財務に係わるあらゆる情報の収集及び分析を行ない、不正を排除した健全経営を継続します。
- ⑦社会貢献・地域志向＝よき企業市民として地域



印刷業としてのCSRビジョン

社会と共生し、地域の活性化、文化・経済の発展に貢献します。

⑧情報開示・コミュニケーション＝ステークホルダーとの円滑なコミュニケーションに務め、企業情報を適切かつ公正に開示します。

CSRを会社の風土として定着させるためには、まず経営者自らが自社のCSR方針を社内外に向け発信し、従業員全員と活動をスパイラルアップさせていくことが重要です。とりあえず、CSRビジョンを基礎にし、その上に自社の環境に合った内容を構築しながら自社のCSR方針を策定してみてください。

【業界全体の信頼性向上のために】

全印工連では、外部からの評価によって取り組みの状況を認定する「全印工連CSR認定制度」を創設。この制度は義務的に何かを強制させられるものではなく、あくまでも自社を社会から必要とされる「良い会社」に成長させるための自主的に取り組むものです。精度の高いCSRマネジメントシステム規格と認定制度を業界団体として運用していることが、印刷業全体の信頼性の向上にも繋がります。

CSRは日常業務に深く根ざしたものでなくてはなりません。「全印工連CSRマネジメントシステム規格」並びにその規格に則った「CSR認定制度」は、企業の社会的責任に係わるものである以上、その取

従業員規模	申請料	審査料	登録料	合計
5～9人	10,500	21,000	21,000	52,500
10～19人	10,500	26,250	21,000	57,750
20～29人	10,500	31,500	21,000	63,000
30～39人	10,500	42,000	21,000	73,500
40～49人	10,500	52,500	21,000	84,000
50～99人	10,500	63,000	21,000	94,500
100～199人	10,500	73,500	21,000	105,000
200～299人	10,500	84,000	21,000	115,500
300人以上	10,500	94,500	21,000	126,000

全印工連CSR認定制度「ワンスター認定料金表」

り組みは継続的であり、日常の業務に深く根ざしているものでなければなりません。全社員が業務として取り組めるマネジメントシステムとして、CSRを運用していく必要があります。

全印工連では、会員企業がCSRに取り組む際のガイドラインとなるように、横浜市立大学CSRセンター監修のもと、印刷業の特性を踏まえた独自のマネジメントシステム規格を作成。規格に従って社内のマネジメントシステムを整備していけば自然と日常業務の中に、CSRが取り入れられるようになっていきます。

【CSR認定制度の概要】

認定制度には、標準認定の「ワンスター」、上位認定の「ツースター」、最上位認定の「スリースター」があります。ワンスター認定は書類審査、ツースター認定及びスリースター認定は書類審査及び現地審査を行いません。ワンスター認定は、CSR認定の標準認定であり、審査機関の横浜市立大学CSRセンターが書類審査を実施し、外部の有識者で構成する全印工連CSR認定委員会において認定します。認定取得後は2年ごとに更新審査を行ない、上位認定であるツースター認定を取得することも可能です。

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

菊半裁4色印刷機

LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、逆くの字調配列を採用した正菊半サイズの省スペース機

大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

株式会社 桜井フラフックスシステムズ

Sakurai

本社 〒135-0032 東京都江東区亀田2-2-0 TEL: (03) 3643-1131 (F) FAX: (03) 3643-1138

中部営業所 〒501-3732 岐阜県美濃市3951 TEL: (0575) 35-2551 (F) FAX: (0575) 35-2681

大阪営業所 〒532-0012 大阪府淀川区米田3-1-31 TEL: (06) 6308-6651 (F) FAX: (06) 6308-6679

九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8 TEL: (092) 741-2672 (F) FAX: (092) 741-2670

岐阜工場 〒501-3732 岐阜県美濃市3951 TEL: (0575) 33-1260 (F) FAX: (0575) 33-3146

■参考

「CSR取り組み項目チェックリスト」とその記入例

CSR項目	有効性評価項目	申請した項目に	提出書類の例	1スター認定		取組みポイント数
				の達成率	条件	
1 コンプライアンス	(1.1) 法令遵守	○	「法令遵守宣誓書」原本	全項目必須	任意	①
	(1.2) 納税している(税金の未納がない)	○	納税証明書(3の3)の写し			①
	(1.3) 過去3年以内に法規制などにより行政処分を受けた実績がない	○	「行政処分がないことの宣誓書」原本			①
	(1.4) 知的財産権などの権利関係を説明する窓口がある		組織図等			1
	(1.5) 法務に関する窓口がある		組織図等			1
	(1.6) 【その他注目すべき取組み】	1 2				取組み内容がわかる文書や写真など 取組み内容がわかる文書や写真など
2 環境	(2.1) GP認定を取得している	○	GP認定証の写し	任意	4P以上	③
	(2.2) ISO14001を取得している	○	ISO14001認定証の写し			②
	(2.3) 関連の認証や認定(エコアクション21等)を取得している		認定証の写し			1
	(2.4) GP認定以外の印刷業向けの認証や認定を取得している	○	FSC-COC認証の写し			①
	(2.5) 環境配慮製品の製造または販売を推進している	○	FSC-COC認証品の印刷物の販売計画の写し			①
	(2.6) 環境関連の表彰を受けたことがある		表彰状の写し			1
	(2.7) 環境報告書を出している		環境報告書(Webでも可)			1
	(2.8) 地域の環境活動に参加している	○	会社周辺の清掃・その他の活動記録、写真			①
	(2.9) CFP、カーボンオフセットなどに取り組んでいる		記録など			1
	(2.10) 【その他注目すべき取組み】	1 2 3 4				GP認定洗浄剤購入記録の写し リサイクル業者のリサイクル証明書の写し 入稿のデジタル率の記録の写し 植物物油インキ使用印刷物の提案記録の写し
3 情報セキュリティ	(3.1) Pマーク、ISMS等の認証を取得している	○	Pマーク認定証の写し	全項目必須	任意	②
	(3.2) 印刷業界独自の情報マネジメント認証を取得している		認定証の写し			1
	(3.3) 顧客(個人)情報管理が厳重に行われている		マニュアル、写真など			1
	(3.4) 厳重な文書管理が見られる	○	Pマークの規程の写し			①
	(3.5) コンピュータネットワーク等に関して特別な管理をしている	○	Pマークの規程の写し			①
	(3.6) 情報セキュリティに関する窓口がある	○	組織図(窓口を明記)の写し			①
	(3.7) 守秘義務規程、機密保持規定がある		規程			1
	(3.8) 個人情報保護規程がある	○	個人情報保護規程の写し			①
	(3.9) 【その他注目すべき取組み】	1 2				HP画面の写し 業者との委託契約書の写し
4 品質	(4.1) 関連の認証や認定を取得している(ISO9001等)	○	ISO9001認定証の写し	任意	2P以上	②
	(4.2) 高齢者対応の製品・サービスを行っている	○	MUDに則った印刷サービス指針の写し			①
	(4.3) 健康や安全に配慮した製品・サービスを行っている		製品、記録、写真など			1
	(4.4) 障害者対応の製品・サービスを行っている		製品、記録、写真など			1
	(4.5) QC、TOC活動を行っている	○	QC活動記録の写し			①
	(4.6) 品質関連表彰を受けたことがある		表彰状などの写し			1
	(4.7) 【その他注目すべき取組み】	1 2				合格証の写し、受検記録の写し 表彰状の写し
5 雇用・労働安全	(5.1) 関連の認証や認定を取得している		認定証の写し	任意	7P以上	1
	(5.2) 雇用や労働安全に関する表彰を受けたことがある		表彰状の写し			1
	(5.3) 20年存立	○	会社案内の写し			①
	(5.4) 人事評価制度を文書化している	○	人事規程の写し			①
	(5.5) 介護支援制度がある		制度が文書化されたもの			1
	(5.6) 出産育児支援制度がある		制度が文書化されたもの			1
	(5.7) 高齢者を積極的に雇用している	○	高齢者雇用規程の写し、記録の写し			①
	(5.8) 障害者を積極的に雇用している		記録			1
	(5.9) 男女共同参画推進規程がある		規程			1
	(5.10) 女性管理職推奨規程がある		規程			1
	(5.11) ワークライフバランスの推進		活動記録(一斉集まり、全社一斉有給休暇等)			1
	(5.12) 健康相談窓口を設置している	○	組織図(窓口を明記)の写し			①
	(5.13) 労働相談窓口を設置している	○	組織図(窓口を明記)の写し			①
	(5.14) 窓口で専門職を置いている、もしくは外部専門家(社労士等)と契約している。		契約書など			1

**全印工連CSR認定
第一期40社を認定**

新日本印刷・マルワ・二和印刷紙業が取得

全日本印刷工業組合連合会（島村博之会長）が企業の社会的責任（CSR）の体制を構築している組合員企業を認定する「CSR認定制度」の第1期認定企業を決定。書類審査を通過した40社が認定された。

全員工連のCSR認定制度は組合員のCSR普及・啓発の一環として今年度からスタートし、第1期が2月から

4月まで募集が行われ42社が申請。

横浜市立大学CSRセンターの書類審査により40社が通過し、全印工連CSR認定委員会（鍋島裕俊委員長）が40社全社を認定した。工組別では、東京9社、北海道6社、愛知、兵庫3社となり、九州地区を除く全国からの申請があった。

【第1期認定企業（中部地区）】

新日本印刷(株)（名古屋市）、(株)マルワ（名古屋市）、(株)二和印刷紙業（名古屋市）、(株)岐阜文芸社（岐阜市）、第一共同印刷(株)（富山市）、朝日印刷(株)（富山市）

5	"	(5.15)	雇用・労働安全に関する教育を行っている。	○	教育実施記録の写し	"	"	1
		(5.16)	在宅ワーカーとの間で契約を結んでいる		契約書など			1
		(5.17)	法定以外の健康診断等を会社負担にて受診する機会を社員に提供している。		実施記録など			1
		(5.18)	過去3年間労働災害が発生していない	○	「労働災害がないことの宣誓書」原本			1
		(5.19)	過去3年間、会社都合による退職がない	○	「会社都合退職がないことの宣誓書」原本			1
		(5.20)	就業規則等の規程類が定期的に見直されている		規程、見直し実施記録など			1
(5.21)	【その他注目すべき取組み】	1 年1回、従業員の家族と懇話会を開催している 2	○	活動記録の写し、写真 取り組み内容がわかる文書や写真など	1	1		
6	財務・業績	(6.1)	関連の認定・認証を取得している		認定証の写し	任意	3P以上	1
		(6.2)	関連の表彰を受けたことがある		表彰状の写し			1
		(6.3)	3期連続黒字である	○	直近の3期分の損益計算書の写し			1
		(6.4)	出納担当者と帳簿作成担当者を分離している	○	組織図（出納担当と帳簿作成担当を併記）の写し			1
		(6.5)	毎期予算を作成している	○	直近の1期分の予算書の写し			1
		(6.6)	発生主義月次決算をしている	○	月次決算書の写し、月次試算書の写し			1
		(6.7)	外部専門家（財務コンサルタント等）と契約している		契約書など			1
		(6.8)	管理職が収支状況を把握している	○	会議録等録の写し、管理職の宣誓書の写し			1
		(6.9)	不祥事発生時取締役の再任不可規程がある		規程、株主総会定款など			1
		(6.10)	受注販売管理システム（MIS等）を導入している。		PC画面のコピーなど			1
		(6.11)	SRP（社会的責任投資）を実施している		投資先の会社概要、証券の写し			1
		(6.12)	【その他注目すべき取組み】	1 日商簿記の取得を従業員に推奨している 2	○			合格証の写し、受験記録の写し 取り組み内容がわかる文書や写真など
7	社会貢献・地域志向	(7.1)	関連の認証や認定を取得している		認定証の写し	任意	4P以上	1
		(7.2)	関連の表彰を受けたことがある		表彰状の写し			1
		(7.3)	製品・サービスにおいて地域を意識している	○	ゆるキャラのデザイン提案、観光振興の提案書の写し			1
		(7.4)	顧客・取引先を地域から選択		規程など			1
		(7.5)	事業の中でまちづくりに参加している	○	マナーUP（街へ）活動の記録、地域活性化の企画の写し			1
		(7.6)	会社としてボランティア活動をしている	○	活動記録への参加者の所属関係等の記録の写し			1
		(7.7)	地域に寄付をしている	○	夏祭り・秋祭りの協賛金の収収証の写し			1
		(7.8)	文化事業等を支援・推進している	○	タウン情報誌の企業広告の写し			1
		(7.9)	会社見学、工場見学を積極的に受け入れている	○	工場見学の記録の写し、写真			1
		(7.10)	インターンシップを受け入れている		記録など			1
		(7.11)	【その他注目すべき取組み】	1 地域独自の協定の取得を従業員に推奨している 2	○			認定証の写し、受験記録 取り組み内容がわかる文書や写真など
8	情報開示・コミュニケーション	(8.1)	関連の認定・認証を取得している		認定証の写し	任意	3P以上	1
		(8.2)	関連の表彰を受けたことがある		表彰状の写し			1
		(8.3)	顧客対応専門の窓口を設置している	○	組織図（内勤の担当を明記）の写し			1
		(8.4)	顧客対応専門の担当者を配置している	○	組織図（外勤の担当を明記）の写し			1
		(8.5)	ステークホルダーの自社に対する評価を調査している	○	「お客様の声」アンケート調査結果の写し			1
		(8.6)	外部委託先の評価をしている	○	外注先のコンプライアンス評価記録の写し			1
		(8.7)	顧客対応教育・訓練を行っている。		教育実施記録			1
		(8.8)	情報開示を積極的に行っている。	○	「情報開示宣誓書」原本			1
		(8.9)	CSR報告書を出している（取組状況を一般に開示）		CSR報告書			1
		(8.10)	【その他注目すべき取組み】	1 自社HPで「お客様の声」を随時紹介している 2	○			HP画面の写し 取り組み内容がわかる文書や写真など



経営革新・マーケティング分科会



環境分科会



組織・共済分科会

全印工連／中部地区印刷協議会・平成25年度上期会議(富山県会議) 分科会・理事長会報告

先月号では、「全印工連・中部地区印刷協議会(平成25年度上期会議)」における全体会議の様をお知らせしたので、今月号では、分科会・理事長会での意見交換・報告を掲載します。(要旨)

□経営革新・マーケティング委員会(報告=小畠寛祐副委員長・石川)

印刷経営の質を高めるための判断基準や行動基準を解説した「印刷産業経営羅針盤セミナー」は、中部地区協のほとんどの工組で行った。今後は自社の経営分析を実践するためのセミナーを開催するほか、CSR、マーケット創造など、様々な内容のセミナーを各県で検討している。愛印工組が昨年開催したマーケティングセミナーには、定員以上の参加があった。これは、フェイスブックなどを駆使し一般にも告知したことにより、業界以外の参加も得ることができたためである。セミナー開催については、経営者が勉強するだけでなく、社員教育にも繋がるような研修メニューが必要であるとの意見もあった。

□環境委員会(報告=塚本誠副委員長・三重)

大阪の校正印刷会社で発覚した印刷従業員の胆管がん発症問題がクローズアップされ1年になる。これにより印刷業界のイメージが随分ダウンした。印刷業界のイメージ向上のため、業界の取り組み活動を対外的にアピールすることが求められる。岐阜印工組は、労働安全衛生セミナーを地元新聞社に取材依頼を行うなど、積極的にマスコミを活用している。グリーン購入法新基準により、グリーンプリンティング(GP)認定取得が印刷物受注の条件になれば、地元官公需への波及も考えられるので、認定制度がさらに重要性を帯びてくる。労務問題では、4月から高齢者雇用安定法や労働契約法が改正された。これを受けて、内容をきちんと理解し法

令遵守に勤めなくてはならない、との意見が強調された。

□組織・共済委員会(報告=須垣貴雄委員長・富山)

全印工連では、組合員に直接様々な情報を提供するため、メールアドレスの登録を呼掛けているが、1社で2つのアドレス登録が効果的である。なぜかといえば、仮に経営者が見落としても総務の担当者が閲覧できれば社内への情報浸透が可能だからである。共済事業については組合の大きな収入源であることを再認識し、理事長・役員らが積極的に委員会をフォローし、100%加入を目指してほしい。組織の活性に関しては、組合青年部の活性化が鍵になる。三重印工組は昨年度、若手組合員主導で企画展示会を開き大きな成功を収めた。組合は資金協力を行いながら、青年部に事業を委譲していくことが求められている。

□教育・労務委員会(報告=松岡祐司委員長・愛知)

「見える化セミナー」は9月27日に名古屋のウインクあいちで開催する。来年は2月に開催される中部地区協の前に行く。原価管理を社内共有することの重要性を取り上げたい。全印工連は、DTPパッケージソフト「クリエイティブ・スイート(CS)」を割安に使用できるライセンス契約をアドビシステムズ社と結んできたが、アドビ社がインターネット経由で様々なDTPソフトを使用する「クリエイティブ・クラウド(CC)」に移行することから、現在、新たな契約締結の折衝を進めている。また、業務効率化の改善に繋がるWeb入稿・校正システムも研究する。労働法令に基づく紙断裁機特別教育の断裁機セミナーは、岐阜印工組は6月8日学科講習を開催しており、断裁機従事者60余名が参加している。愛印工組では7月8日に行く。

□取引公正委員会(報告=鈴木岳志委員長・岐阜)

岐阜印工組は昨年度、県との協議で見直した発注仕様書を



教育・労務分科会



取引公正化分科会



理事長会

第4回ポスターグランプリコンペティション テーマは「技(技)」

第4回を迎えましたポスターグランプリの募集が8月に迫りました。応募期間は8月20日(火)～9月7日(出)です。テーマは「技」です。応募資格は、愛知・岐阜・三重在住、又は、同3県内の会社、大学(大学院、短期大学含む)、専門学校、高等学校。応募資格は、今回から一般デザイナーからと、大学生・専門学校、高等学校の各部門からの応募をいたします。

サイズは、一般、大学生、専門学校生はB1判、高校生はB2判。いずれも縦型・発砲パネルしたて、厚さ15mm以内。

出品料は無料です。

グランプリ(最優秀賞)は1名:賞金10万円、優秀賞は各部門2名以内:賞金2万円です。その他、各賞が用意されています。

詳しくは、愛知県印刷工業組合内ポスターグランプリ係まで。TEL052(962)5771、FAX052(951)0569、あるいは、<http://www.ai-in-ko.or.jp/>まで。

しっかりと機能させるため、仕様書の書き方を解説する「印刷物発注の手引き」と題した動画を作成した。県の職員から「印刷用語が難解」との意見が出されたため制作したもので、現在は1枚もの(チラシ、ポスター)のみであるが、今後はパンフレット、冊子、封筒などにも対応していく。三重印工組は、県の予定価格100万円以上を対象とする最低制限価格制度の予定価格を引き上げる交渉を進める。全印工連の組織の中で、官公需対策は「協議会」との位置付けであるが、ダンピングという業界の大きな課題を抱えているので、通常委員会、専門委員会レベルに引き上げ、解決策を検討することが必要と思われる。

□理事長会(報告=水谷勝也理事長・三重)

愛印工組は、作年度からメンタルヘルス対策に取り組み、今年度はメンタルヘルスに関する相談も受けられる、新医療保険の加入促進にも注力している。これまでに314人の加入があったとのこと。また、新医療保険と平行して全印工連

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
8月29日(木) 30日(金) 及び 9月4日(水) ～ 6日(金) 9日(月)	事業名 印刷会社の社員研修会(フォローアップ研修) ところ メディアージュ愛知 3階 大会議室 ※開催職務又は教科の内容及び実施日程は組合ホームページでご確認ください。 http://www.ai-in-ko.or.jp ※フォローアップ研修になりますが、新たに参加ご希望の方も各講座単位で受け付けております。 お申込みにつきましては組合事務局までご連絡ください。
8月23日(金) 15:00～ 17:00	事業名 メンタルヘルスセミナー ところ メディアージュ愛知 3階 大会議室 講師: 齊藤 政彦 氏 大同特殊鋼(株)統括産業医(兼) 星崎工場・研究開発本部 産業医 労働衛生コンサルタント 星崎診療所 所長 参加費:組合員2,000円 定員:40名 申込期日:8月9日(金)
8月30日(金) ～ 8月31日(土)	事業名 工場見学会 ところ (株)小森コーポレーション つくばプラント 大日本スクリーングループ ホワイトキャンパス MON-NAKA 参加費:22,000円 定員:30名 申込期日:8月8日(木)
9月27日(金) 18:20～ 20:40	事業名 ゼロから始める"見える化"セミナー ～"見える化"を取り入れてからの具体的な収益改善報告～ ところ ウィンクあいち 1203会議室 参加費:組合員3,000円・一般5,000円 定員:80名 申込期日:9月13日(金)

●身近な催し物のお知らせ(関連団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考
8月24日(土)	事業名 日本印刷学会中部支部夏季印刷技術新講座 "実録"「職場診断から見る印刷のツボ」③ ところ 東桜会館 1階 集会室 参加費:会費7,000円(1社3名以上の参加費:1人につき5,000円) 定員:70名 申込期日:定員になり次第締め切ります。

の生命共済の加入促進も行い新たに200人の加入を得ている。新入社員教育は、助成金が受けられるので大いに活用したい。石川印工組は、今年9月7日に組合創立100周年に記念事業を開催する。記念事業では、富士フィルムホールディングスの古森重隆会長兼CEOによる記念講演、ポスター展などを実施する。なお、ポスター展は来年度から愛印工組が行っているポスターグランプリに参加する。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか? 私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
"満足"を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社
中部支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-15-20 丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

■愛知労働局より

「第12次労働災害防止推進計画」

安心して健康に 働くことができる社会を目指し!

愛知労働局では、国の「第12次労働災害防止推進計画」に基づき、愛知労働局における労働災害防止対策を推進するため、重点的に取り組む事項を「労働災害防止推進計画」として策定し、周知徹底を図るとともに、労働災害の減少を目指している。

具体的内容を以下紹介する。

【計画が目指す社会】

「働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれるようなことは、本来あってはならない」。全ての関係者がこの意識を共有し、安全や健康のためのコストは必要不可欠であることを正しく理解し、それぞれが責任ある行動をとることにより、「誰もが安心して健康に働くことができる社会を目指す」。

【計画の目標】

平成29年において、労働災害による死亡者を40人を下回る。また、労働災害による死傷者数（休業4日以上）を15%以上減少させる（平成24年知比較して）。

【現状と課題】

労働災害による被災者数（平成24年）／死亡者数：49人（過去最少）、死傷者数：6,392人（2年連続増加後、平成24年は減少）。

労働災害は長期的には減少しているが、第三次産業では増加（特に社会福祉施設では過去5年で47%増）。また、死亡災害も減少しているが、依然、建設業、製造業で60%を占め割合が高い（特に、製造業における機械による挟まれ災害、建設業における墜落・転落災害）。

【具体的な取り組み】

①労働災害、業務上疾病発生状況の変化に合わせた対

策の重点化

〈重篤度の高い労働災害減少のための重点業種対策〉

▽製造業対策【目標】挟まれ・巻き込まれ災害を15%以上減少。

▽建設業対策【目標】墜落・転落災害を15%以上減少。

—労働災害件数現象のための重点業種対策—

▽陸上貨物運送事業対策【目標】荷役作業時の墜落・転落災害を15%以上減少。

▽第三次産業対策【目標】小売業：死傷者を20%以上減少。

〈健康確保・職業性疾病対策〉

▽化学物質など対策、▽メンタルヘルス対策、▽腰痛・熱中症対策、▽過重労働対策、▽受動喫煙防止対策、▽中小規模事業場対策、▽リスクアセスメントなどの普及促進、▽高齢労働者対策、▽派遣労働者対策、▽高級化した設備対策。

②製造段階での機械の安全対策の強化

製造業のほか小売業などでも食品加工機械などによる労働災害が発生しているため、機械設備の本質安全化を推進する。

③行政、労働災害防止団体、業界団体などの連携による災害防止の取り組み

労働災害防止団体の果たすべき役割を強化するため、労働災害関連情報の提供を行う。

また、労働災害防止団体、業界団体などの活動を支援し連携を図る。

【第11次労働災害防止推進計画の結果】

目標 ①死亡者数については、平成24年において60人を大きく下回ること、②死傷者数について平成24年において平成19年と比較して15%以上減少させること、③労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断の有所見率の増加傾向に歯止めをかけ減少させること。

結果 ①24年の死亡者数は49人と過去最少となった、②24年の死傷者数は6,392人で平成19年の12.3%の減少に留まった、③24年における定期健康診断の有所見率は49.88%となり、23年の50.29%から減少し、増加傾向に歯止めがかけられた。

カラーもモノクロもページもの印刷得意です

◎厚紙印刷菊全4色0.8mmまで可

◎PP貼のみの仕事引き受けます

データから印刷・製本・発送まで自社一貫体制

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461 (代) ☎

FAX0564-62-8463

●印刷機械
●製本機械
●製本機
●DTP関連機
●印刷諸材料
●データ制作
●オンデマンド印刷
●データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合会社

株式会社 盛功社

〒461-0014 名古屋市中区栄区本町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0290
http://seikoha.net.jp/

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー

□メディアユニバーサルデザイン5原則



□愛印工「MUDセミナー」

メディアユニバーサルデザイン

～CSR活動と顧客満足度の実現の一助として～

愛印工主催、愛知県、あいち産業振興機構後援によるMUDセミナー「メディアユニバーサルデザイン～CSR活動と顧客満足度の実現の一助として～」が、6月20日午後2時よりメディアージュ愛知において開催された。講師には、MUD協会の浦久保康裕氏（株一心社代表取締役専務）が招聘された。

浦久保講師は、冒頭に「メディアユニバーサルデザイン(MUD)は、誰もが安心して利用することのできる施設や製品の設計(デザイン)を目指すユニバーサルデザイン(UD)の思想に基づいている。バリアフリーとは、障壁(バリア)を取り除くことで、ハンディキャップのある人にも快適な普通の生活を送ることを可能にしようという考え方である。ユニバーサルデザインは、バリアフリーから進化した概念として生まれた。あらゆる体格・能力・年齢・障害の有無に係わらず、誰もが利用できる製品・環境・サービスを創造するという考え方である」とMUDについて説明し、拡大を続けるUD市場を紹介。

「業界を超えた各種推進団体やNPOによる活動が活発化している。経営方針としてUDを採用する企業が急激に増加している。その狙いは、競争優位を確立するためであり、CSRの視点からである。年々拡大するUD関連での共用品市場規模金額の推移をみると、1995年では4,869億円であったものが2009年では3兆4,302億円と7倍以上の伸びである」と指摘。印刷業界としても早急に取り組む必要性を指摘した。

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-63 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418

豊田加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0566) 28-2049



MUD認証マーク

利用者本位の信頼性の高いMUDを普及させるために、NPO法人MUD協会では、MUD製品の第三者認定制度をスタートさせている。この制度は、MUDの各製品製作物を独自の評価で認証する。

さらに浦久保講師は、「メディアユニバーサルデザイン5原則」を紹介。

その中で、「メディアユニバーサルデザイン5原則をもとに、MUDを取り入れた印刷物について」次のように紹介した。

①伝わる／アクセシビリティ（接近容易性）＝「見えない」「読めない」「手に入らない」などの情報の入手を妨げる要因を取り除くことへの工夫。

②便利／ユーザビリティ（使いやすさ）＝より快適に、より便利に、無理なく使えるような使いやすさの工夫。

③わかりやすい／リテラシー（意味の伝わりやすさ）＝内容がより理解しやすいものとなるような、言語、表現、構成による工夫をする。

例えば、ピクトグラムを使う。ピクトグラムとは、明度の違う2色を使用し、視覚的な図（絵）によって情報を伝える。印刷物やパッケージで、文字表現を補完する表現方法として重要。

④かっこよさ／デザイン（情緒に訴える）＝情緒に訴え、行動を誘発するデザインによる工夫。例えば、内容にあったデザイン、見たいと思うデザイン、多くの人が楽しめるデザインなど。

⑤やさしさ／サステナビリティ（環境対応と持続性可能性）＝「人にやさしい」製品は、環境にもやさしくなければ、本質的に人にやさしくはない。印刷物や包材の環境対応もMUDには必要である」。

その後、見やすいメディアの提供での考慮点や印刷メディアに対する不満・要望などを紹介し、最後に浦久保講師は、「多様化する情報化社会では、伝えたい情報・伝えるべき情報を正確に伝えることが重要である。

そして、印刷物では、誰もが違和感なく、見やすい印刷物を目指す必要がある」とした。

（なお、講演要旨の詳細は次号に掲載予定）

●従業員・家族合同レクリエーション大会

「りんご狩りと馬籠宿ウオーキング」日帰りバス旅行

毎年恒例の従業員・家族合同レクリエーション大会が9月29日に開催されます。

今回は、南信州の味覚「りんご狩り」と島崎藤村ゆかりの「馬籠宿」ウオーキングの日帰りバス旅行を企画しました。馬籠宿は、穏やかな坂道に沿って昔ながらの家並みが続く中仙道43番目の宿場町です。この宿場町のウオーキングと観光農園でのりんご狩りを楽しめます。

実施要項を確認の上、家族・職場の仲間など皆さんの参加をお待ちしています。定員になり次第締め切りますので、早めの申し込みをお願いします。

【開催日】

9月29日(日)

【行先】

りんご狩り（アップルパイ作り）と馬籠宿ウオーキング

【参加費】

大人（中学生以上）1人 3,500円

小人（小学生以下）1人 2,500円



（ただし、昼食と座席が不要の乳幼児は無料）

※参加費には昼食代を含んでいます。

※参加費は8月23日(金)までに必ず振り込んでください。

【募集人数】

240人（先着順に受け付けます）。

【申し込み締切日】

8月23日(金)（締切り以前でも、定員に達し次第締切ります）

【行程】

集合・8:30（テレビ塔北駐車場）
＝東名自動車道、中央自動車道：恵那峡SA＝飯田IC＝三和観光農園11:00
りんご狩り（アップルパイ作り・お土産付き）＝三都飯田（水引会館：昼食）
＝馬籠宿ウオーキング、15:30＝中津川IC 中央・東名・名古屋高速＝丸の内IC＝栄着・解散17:40（雨天決行）。

【問い合わせ・申し込み先】

愛知県印刷工業組合（担当：高屋）
TEL052(962)5771、FAX052(951)0569



刷産業経営動向調査2013」が刊行された。本書は、①2012年度印刷会社の経営動向、②印刷会社の業績と経営戦略、③印刷会社の設備動向、④参考資料からなる、印刷経営ハンドブックのベストセラー。

体裁：A4判101ページ無線綴じ。

定価：一般10,500円（税込）、JAGAT会員5,250円（税込）

発行：公益社団法人日本印刷技術協会（申込みは、FAX03-3384-3216まで）

□「油性からUVへ UV印刷からオゾンレスUV印刷へ」

（株）印刷出版研究所から、UV印刷の実戦的ガイド「油性からUVへ UV印刷からオゾンレスUV印刷へ」が刊行された。本書は、UV印刷の基礎から、現場でのオペレーションまで、机上の空論を排し、「実践」の二文字を追求したUV印刷に取り組む全ての印刷人の必須のガイドブック。

著者：照井義行

体裁：A6判横長272ページ

定価：1,800円＋税

発行：（株）印刷出版研究所（申込みは、FAX03-5155-7930まで）

事務局だより

■全印工連のCSR認定制度。第1期認定で40社が認定されました。企業の社会的責任がますます問われてきます。“挑戦したいが何から手をつけたいのか判らない”とお迷いでしたら、巻頭に掲載しました全印工連CSR推進委員江森克治氏の講演が参考になると思います。是非、一読下さい。

■また、全印工連では「クラウドバックアップサービス」事業を立ち上げました。これは、簡単かつ安全にデータのバックアップを行い、必要な時はいつでも安全にデータを復元でき、しかも大容量なのにリーズナブルな価格設定がされています。気軽に導入できるのも魅力のようです。次号で、具体的な内容について詳報してみます。

一新刊書案内一

□「印刷産業経営動向調査2013」

（社）日本印刷技術協会から、「JAGAT印



あいの印刷

No.501

平成25年 8月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL 〈052〉962-5771

FAX 〈052〉951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp